

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

（2026 年 3 月期の中間期の連結業績）

経常利益は 225 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 161 億円計上することができました。

この間の株主の皆さまならびにお取引先の皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。

（今後の業務運営）

当金庫は、外部環境・内部環境が大きく変化するなか、「倫理憲章・コンプライアンス行動基準」によるコンプライアンスの遵守をすべての土台とし、行動の原点である「CHUKIN Way」をもとに、当金庫が果たすべき使命である「MISSION」を遂行し、「PURPOSE」の実現を目指してまいります。

2023 年 6 月 14 日に成立した「中小企業信用保険法及び株式会社商工組合中央金庫法の一部を改正する法律」（以下、「改正商工中金法」という。）が、政府保有株式の全部処分を経て、2025 年 6 月 13 日に施行されました。同法では、当金庫のサービスの「範囲」の一部を銀行法上の銀行と同様となるよう見直す一方で、株主資格制限や特別準備金の維持、危機対応業務の責務化等、必要な各種措置は維持するものとされております。

当金庫の使命は、今後も変わりません。改正商工中金法の施行も踏まえ、業務範囲を拡大し、中小企業と中小企業組合の企業価値向上に、より一層貢献してまいります。

皆さまのこれまでの格別のお引き立てに感謝申し上げるとともに、引き続き力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。